

純粹に絵が描きたいから描く・・・ それが一番の幸せ

谷田 由紀子さん (元浜町)
チョークアーティスト



「母親から広告チラシをもらい、裏面に夢中になって絵を描いていました。友達と遊ぶよりも絵を描くことの方がずっと好きでした」。物心ついたときから絵を描くことが大好きだったと話すのは、チョークアーティストの谷田由紀子さん。

チョークアートとは、特殊な黒板に「オイルパステル」という画材を使って指先で絵や文字を立体的に描く看板アートの手法です。料理や食材、動物などを色鮮やかに描き、カフェやレストランのメニューボード等に使われます。

谷田さんのチョークアートとの出会いは2004年。たまたま見ていたテレビで、吸い込まれるような衝撃を受けたのがチョークアートで、日本の第一人者「熊沢加奈子」さんの作品でした。「カラフルな色彩や動物

の絵など、幼少の頃から大好きで描きたかった絵のイメージが、熊沢さんの作品により湧き出てきた感じで、ひと目惚れでした」と当時を振り返りました。

以来、チョークアートを描き続け、時には没頭しすぎて指の皮がめくれたことも。「チョークアートの魅力は、例えば料理を描くとき、パスタソースの照りや湯気、チーズがとろける感じなどシズル感がリアルに出せること。また、ただ描くだけでなく、思い出や大切な瞬間を心を込めて描いてプレゼントできたり、看板やウェルカムボードとして実用性があり、描いて楽しい、貰って嬉しいことです。今後はパスタ屋さんやパン屋さんの看板も描いてみたいですね」と、魅力と抱負を話しました。

そして、チョークアートが縁で、幼少か

ら憧れていた「アート・イン・ナガハマ」に3年前から参加し、さらにスタッフとしてもイベント企画に携われるようになったそうです。今年は、作家とアート体験ができる目玉企画「アインカーニバル」のプロデューサーとして、作家選びや運営、キャラクターをデザインするなどすっかり中核メンバーとして大活躍。

このように、地域に貢献している谷田さんですが、「地域貢献だなんてとんでもない。私は子どもの頃から心躍らせながら夢中で絵を描いてきました。ただ、純粹に絵を描くことが大好きなだけなんです。その思いが結果として生まれ育った長浜のお役に立っていただければいいことですね」。アートに触れていることが一番幸せな様子で、幼少か

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報室（☎65-6504）まで申込みください。



廣部

虎珀ちゃん (平成23年11月生まれ) 右
輝来ちゃん (平成25年11月生まれ) 左
(神照町)



藤村

瑛大ちゃん (平成25年10月生まれ) 右
彌大ちゃん (平成24年9月生まれ) 左
(湖北町伊部)

年子で産まれた兄弟♡よく双子に間違えられる2人。ケンカもするけれどお互い大好き！いつまでも仲良く兄弟でいてね。

虎珀3才おめでと♡輝来1才おめでと♡これからも兄弟仲良くしてね♡いつまでも涙山の笑顔と幸せがいっぱい♡

まちの人口	平成26年10月1日現在	人口 121,965人	男 59,624人	女 62,341人	世帯数 44,506世帯
	平成26年9月中の異動	転入 218人	転出 233人	出生 96人	死亡 103人 婚姻 33件

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としています。市民交流センターや図書館、公民館など市の公共施設にも置いています。市のホームページでもご覧いただけます。点字広報、声の広報を作成していますので、ご希望の人は市民広報室まで。



植物油インキで印刷しています。再生紙を使用しています。